

令和4年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学1年 音楽科
教科担当	宜保 泉
教科書名	中学生の音楽1、中学生の器楽（教育芸術社）
副教材名	音楽のハーモニー 1年

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 音楽科の学習について

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を愛好する心情を育てる。 ○音楽に対する感性を豊かにし、音楽の基礎的な能力を伸ばす。 ○多様な音楽文化についての理解を深める。 ○豊かな情操を養う。
授業のすすめ方	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽は「歌唱（表現）」「器楽（表現）」「鑑賞」「創作」の4つを学ぶ。 ○どの分野においても、「自分の考え（思考）」をもとにして音楽表現を考えていく。思考・判断し、表現につなげる取り組みを行う。 ○ペアやグループ活動を取り入れ、他者と音楽を共有する時間を設ける。
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の基礎基本を定着できるようにすること。 ○自分の考えを大事にしなが、音楽的要素と関連させて考えること。 ○感じ取ったことを恥ずかしがらずに、きちんと表現できるようにすること。 ○真剣に取り組むこと。

2 評価について

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○評価の観点3つ「主体的に学習に向かう態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」 ○単元テストだけでなく、授業態度や提出物、実技テストなども含めて総合的に評価する。 ○実技テストは、音楽的な技能や表現の工夫に重点をおいて評価する。
単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> ○単元テストは授業で取り組んだ題材から出題（音楽基礎、曲の構成、曲の真意など） ○授業内でやり取りした事からも出題 ○音楽用語を使って、曲についての自分の考えを記述する問題あり （どのように表現したらよいか、曲に合った表現などを考えながら授業を受けること） ○音楽基礎

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。 歌唱「校歌」(実技テスト) 音楽基礎(小学校のふりかえり) 単元テスト	音楽科シラバス 毎時間、教科書・ワーク アルトリコーダーを使用 必ず持ってくること
5月	歌唱「We'll Find The Way」 器楽「アルトリコーダー(左手の運指)」 単元テスト	※単元テスト、実技テスト の予定は変更することがあ ります。実施する1週間前 にお知らせします。
6月	鑑賞「春」 器楽「アルトリコーダー(喜びの歌)」 単元テスト	
7月	器楽「アルトリコーダー(喜びの歌)」(実技テスト) 鑑賞「合唱コンクール曲 選曲」	
8月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」	
9月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」 「赤とんぼ」 器楽「アルトリコーダー(右手の運指)」	
10月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」 歌唱「浜辺の歌」 単元テスト	
11月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」(実技テスト) 鑑賞「魔王」 器楽「アルトリコーダー(オーラリー)」	
12月	鑑賞「日本の伝統音楽」 器楽「アルトリコーダー(オーラリー)」(実技テスト) 単元テスト	
1月	創作「リズム創作」	
2月	歌唱「卒業式への取り組み」 器楽「アルトリコーダー」	
3月	鑑賞「日本の郷土芸能」「世界の民族音楽」 単元テスト	

4 授業をうける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする。
 - ・チャイムが鳴る1分前までに授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手をまっすぐ挙げる(無言挙手)など
- 音楽に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 歌唱や器楽においても真剣に取り組む、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ活動では積極的に意見交換をして、音楽的表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 単元テスト前は、授業のプリントやワークをふり返り、対策にしっかり取り組むこと。
- 実技テスト前は、リコーダーを持ち帰り自主的に練習してもよい。
- 長期休暇の際は、様々な音楽に触れ、音楽的知見を養うこと。

令和4年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学2年 音楽科
教科担当	宜保 泉
教科書名	中学生の音楽2・3上、中学生の器楽（教育芸術社）
副教材名	音楽のハーモニー 2・3年上

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 音楽科の学習について

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を愛好する心情を育てる。 ○音楽に対する感性を豊かにし、音楽の基礎的な能力を伸ばす。 ○多様な音楽文化についての理解を深める。 ○豊かな情操を養う。
授業のすすめ方	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽は「歌唱（表現）」「器楽（表現）」「鑑賞」「創作」の4つを学ぶ。 ○どの分野においても、「自分の考え（思考）」をもとにして音楽表現を考えていく。思考・判断し、表現につなげる取り組みを行う。 ○ペアやグループ活動を取り入れ、他者と音楽を共有する時間を設ける。
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の基礎基本を定着できるようにすること。 ○自分の考えを大事にしなが、音楽的要素と関連させて考えること。 ○感じ取ったことを恥ずかしがらずに、きちんと表現できるようにすること。 ○真剣に取り組むこと。

2 評価について

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○評価の観点は3つ「主体的に学習に向かう態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」 ○単元テストだけでなく、授業態度や提出物、実技テストなども含めて総合的に評価する。 ○実技テストは、音楽的な技能や表現の工夫に重点をおいて評価する。
単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> ○単元テストは授業で取り組んだ題材から出題（音楽基礎、曲の構成、曲の真意など） ○授業内でやり取りした事からも出題 ○音楽用語を使って、曲についての自分の考えを記述する問題あり（どのように表現したらよいのか、曲に合った表現などを考えながら授業を受けること） ○音楽基礎

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。 歌唱「校歌」(実技テスト) 音楽基礎(小学校のふりかえり) 単元テスト	音楽科シラバス 毎時間、教科書・ワーク アルトリコーダーを使用 必ず持ってくること
5月	歌唱「We'll Find The Way」 器楽「アルトリコーダー(左手の運指)」 単元テスト	※単元テスト、実技テスト の予定は変更することがあ ります。実施する1週間前 にお知らせします。
6月	鑑賞「春」 器楽「アルトリコーダー(喜びの歌)」 単元テスト	
7月	器楽「アルトリコーダー(喜びの歌)」(実技テスト) 鑑賞「合唱コンクール曲 選曲」	
8月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」	
9月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」 「赤とんぼ」 器楽「アルトリコーダー(右手の運指)」	
10月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」 歌唱「浜辺の歌」 単元テスト	
11月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」(実技テスト) 鑑賞「魔王」 器楽「アルトリコーダー(オーラリー)」	
12月	鑑賞「日本の伝統音楽」 器楽「アルトリコーダー(オーラリー)」(実技テスト) 単元テスト	
1月	創作「リズム創作」	
2月	歌唱「卒業式への取り組み」 器楽「アルトリコーダー」	
3月	鑑賞「日本の郷土芸能」「世界の民族音楽」 単元テスト	

4 授業をうける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする。
 - ・チャイムが鳴る1分前までに授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手をまっすぐ挙げる(無言挙手)など
- 音楽に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 歌唱や器楽においても真剣に取り組む、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ活動では積極的に意見交換をして、音楽的表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 単元テスト前は、授業のプリントやワークをふり返り、対策にしっかり取り組むこと。
- 実技テスト前は、リコーダーを持ち帰り自主的に練習してもよい。
- 長期休暇の際は、様々な音楽に触れ、音楽的知見を養うこと。

令和4年度 球美中学校各教科シラバス

教科名	中学3年 音楽科
教科担当	宜保 泉
教科書名	中学生の音楽2・3下、中学生の器楽（教育芸術社）
副教材名	音楽のハーモニー 2・3年下

はじめに：これから始まる学習に積極的に意欲を持ち、主体的に学ぶ生徒（本校教育目標：知の側面）をめざし、教科ガイダンスを実施します。この1年間の学習について教科シラバスを示して説明します。

予測が困難と言われるこれからの社会で、球美中生徒のみなさんが、①生きていくため、②あこがれの職業につくため、③夢を実現するためには、中学校の各教科の授業の中で身につける「主体的に学ぶ力」が、みなさんの将来に大きな力となって役立ちます。

球美中学校の各教科担当（教科の先生）は、みなさんに、「主体的に学ぶ力」が身に付くよう、「今日の目標 → 目標を達成するための授業・活動 → 今日の目標が達成できたかのまとめ・振り返り」による「わかる授業」を学校全体で実践します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」は実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに、「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

教科の学びの習得は、あなたの夢をひろげます。ともに頑張りましょう!!

1 音楽科の学習について

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽を愛好する心情を育てる。 ○音楽に対する感性を豊かにし、音楽の基礎的な能力を伸ばす。 ○多様な音楽文化についての理解を深める。 ○豊かな情操を養う。
授業のすすめ方	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽は「歌唱（表現）」「器楽（表現）」「鑑賞」「創作」の4つを学ぶ。 ○どの分野においても、「自分の考え（思考）」をもとにして音楽表現を考えていく。思考・判断し、表現につなげる取り組みを行う。 ○ペアやグループ活動を取り入れ、他者と音楽を共有する時間を設ける。
学習上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽の基礎基本を定着できるようにすること。 ○自分の考えを大事にしなが、音楽的要素と関連させて考えること。 ○感じ取ったことを恥ずかしがらずに、きちんと表現できるようにすること。 ○真剣に取り組むこと。

2 評価について

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ○評価の観点は3つ「主体的に学習に向かう態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」 ○単元テストだけでなく、授業態度や提出物、実技テストなども含めて総合的に評価する。 ○実技テストは、音楽的な技能や表現の工夫に重点をおいて評価する。
単元テスト	<ul style="list-style-type: none"> ○単元テストは授業で取り組んだ題材から出題（音楽基礎、曲の構成、曲の真意など） ○授業内でやり取りした事からも出題 ○音楽用語を使って、曲についての自分の考えを記述する問題あり （どのように表現したらよいか、曲に合った表現などを考えながら授業を受けること） ○音楽基礎

3 年間指導計画

月	主な学習内容および項目	教材・教具等
4月	第1時 教科ガイダンス ※教科シラバスを用いて学習内容や評価方法について説明する。 歌唱「夢の世界を」、「花」(どちらかで実技テスト) 音楽基礎(1・2年のふりかえり)	音楽科シラバス 毎時間、教科書・ワーク アルトリコーダーを使用 必ず持ってくる
5月	鑑賞「ボレロ」 器楽「アルトリコーダー(ラヴァーズコンチェルトA1)」(実テ) 単元テスト	※単元テスト、実技テスト の予定は変更することがあ ります。実施する1週間前 にお知らせします。
6月	鑑賞「ポピュラー音楽」 器楽「アルトリコーダー(ラヴァーズコンチェルトA2)」(実テ) 単元テスト	
7月	器楽「アルトリコーダー(ラヴァーズコンチェルト二重奏)」 鑑賞「合唱コンクール曲 選曲」	実技テスト
8月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」	
9月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」 「帰れソレントへ」 「指揮をしてみよう」	
10月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」 歌唱「花の街」 単元テスト	
11月	歌唱「合唱コンクール曲への取り組み」(実技テスト) 鑑賞「ブルタバ(モルダウ)」 器楽「アルトリコーダー(威風堂々)」	
12月	鑑賞「日本の伝統音楽」 器楽「アルトリコーダー(威風堂々)」(実技テスト) 単元テスト	
1月	創作「リズム創作」	
2月	歌唱「卒業式への取り組み」 器楽「アルトリコーダー」 単元テスト	
3月	鑑賞「日本の郷土芸能」「世界の民族音楽」	

4 授業をうける心構え

- 球美中学校 授業の約束「スクール7」を重点にする。
 - ・チャイムが鳴る1分前までに授業の準備をして着席し、立腰・黙想を行う。
 - ・質問があるときや問いに答えるときは、黙って右手をまっすぐ挙げる(無言挙手)など
- 音楽に興味を持ち、楽しく取り組むようにすること。
- 歌唱や器楽においても真剣に取り組む、自己表現を高める努力を重ねること。
- ペアやグループ活動では積極的に意見交換をして、音楽的表現力を高めること。

5 家庭学習のアドバイス

- 単元テスト前は、授業のプリントやワークをふり返り、対策にしっかり取り組むこと。
- 実技テスト前は、リコーダーを持ち帰り自主的に練習してもよい。
- 長期休暇の際は、様々な音楽に触れ、音楽的知見を養うこと。